

長野県の森林・林業と 県産材利用の取組について

令和5年1月20日(金)
林務部 信州の木活用課
県産材利用推進室

1 長野県森林づくり県民税

森林税を活用した取組み

長野県森林づくり県民税について



【概要】

森林は、多面的な機能を有し、私たちの暮らしに欠くことの出来ない機能を有しており、その森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくために、県民全体で森林づくりを支えていただくことが必要です。

そのため、平成20年度から「長野県森林づくり県民税」（通称：森林税）を導入し、個人から年額500円、法人から均等割額の5%相当額を徴収し、里山の間伐等の整備を進めてきた。

平成30年度からの第3期の森林税では、様々な分野による主体的な里山の整備・利用を推進します

森林づくり県民税を活用した事業

- ① 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備
- ② **自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用**
- ③ 森林づくりに関わる人材の育成
- ④ 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用
- ⑤ 市町村に対する財政調整的視点での支援
- ⑥ 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証



森林税を活用した取組み

長野県森林づくり県民税活用事業

○「子どもの居場所」木質空間整備事業

児童センターや商業施設のキッズスペースなどの「子どもの居場所」に県産材を利用し、施設整備を行う事業に対し、支援を行っています。

事業の種類	上限の補助対象事業費	補助率
木造・木質化	499万円	1 / 2 以内
県産材の調度品・おもちゃの設置	50万円	3 / 4 以内

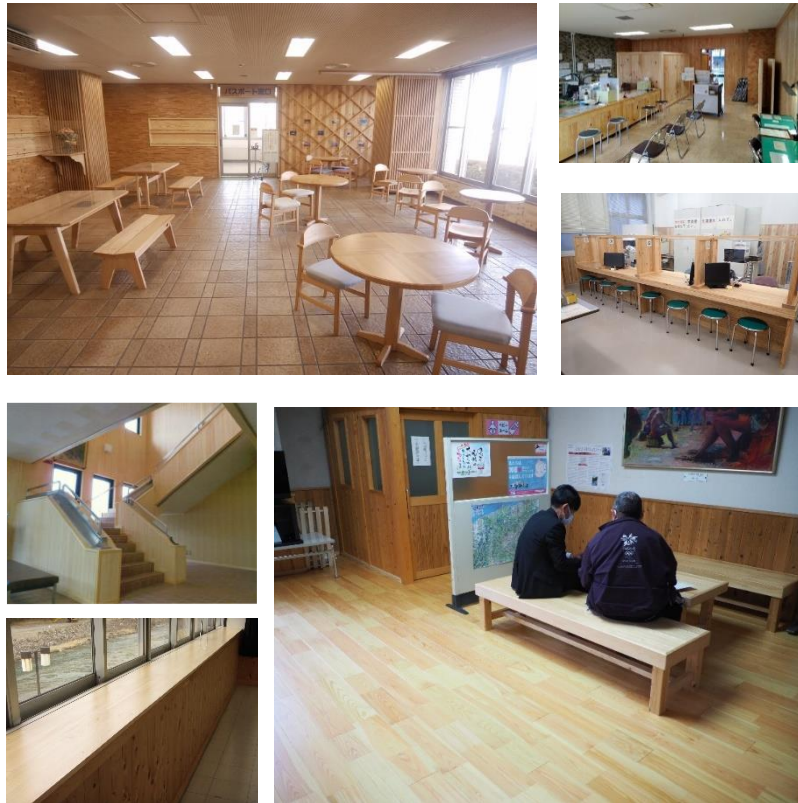


森林税を活用した取組み

長野県森林づくり県民税活用事業

○木づかい空間整備事業

県有施設木質化



民間施設等木質化



森林税を活用した取組（案） 令和5年度～9年度

（単位：億円／5年）

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

15.6億円

新

1 再造林の加速化

- 再造林等の高上げ補助により主伐・再造林を促進し若い森林への更新を加速化

11.3

2 防災・減災のための里山整備

- 土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備

4.3

II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

6.8億円

新

3 県民が広く親しめる里山づくり

- 県民が広く利用できる「開かれた里山」の整備・仕組みづくり

2.8

4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等

- 県民が利用する公共施設の木造・木質化
- 民間施設や子どもが主に利用する施設の木造・木質化

2.0

5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等

- 信州やまほいく認定園のフィールド整備

0.3

- 学校林の整備支援

0.3

6 まちなかの緑・街路樹の整備

- 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備

0.9

- 街路樹の整備支援

0.5

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者の支援

2.6億円

新

7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援

- 森林の健康利用や森林環境教育、観光利用等に取り組む団体の活動支援
- 森林を活用した新たなビジネスの起業支援
- 森林（もり）の里親契約の促進（企業と地域のマッチング）
- 森林セラピーやエコツーリズム等のガイド、森林環境教育等の指導者、里山管理人材等の育成

1.5

0.1

新

8 多様な林業の担い手の確保・育成

- 森林・林業に関わる人材の裾野拡大
- 他産業との兼業や季節的な雇用など多様な林業の担い手への支援

1.0

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題解決の支援

9.0億円

市町村への定額配分による「森林づくり推進支援金」に替え、地域において必要度の高い事業をメニュー化して支援

9	ライフライン等保全対策	2.0
10	河川沿いの支障木等伐採	2.0
11	観光地の景観や緩衝帯の整備	2.0
12	病虫害被害対策	3.0

V 13 普及啓発、評価検証

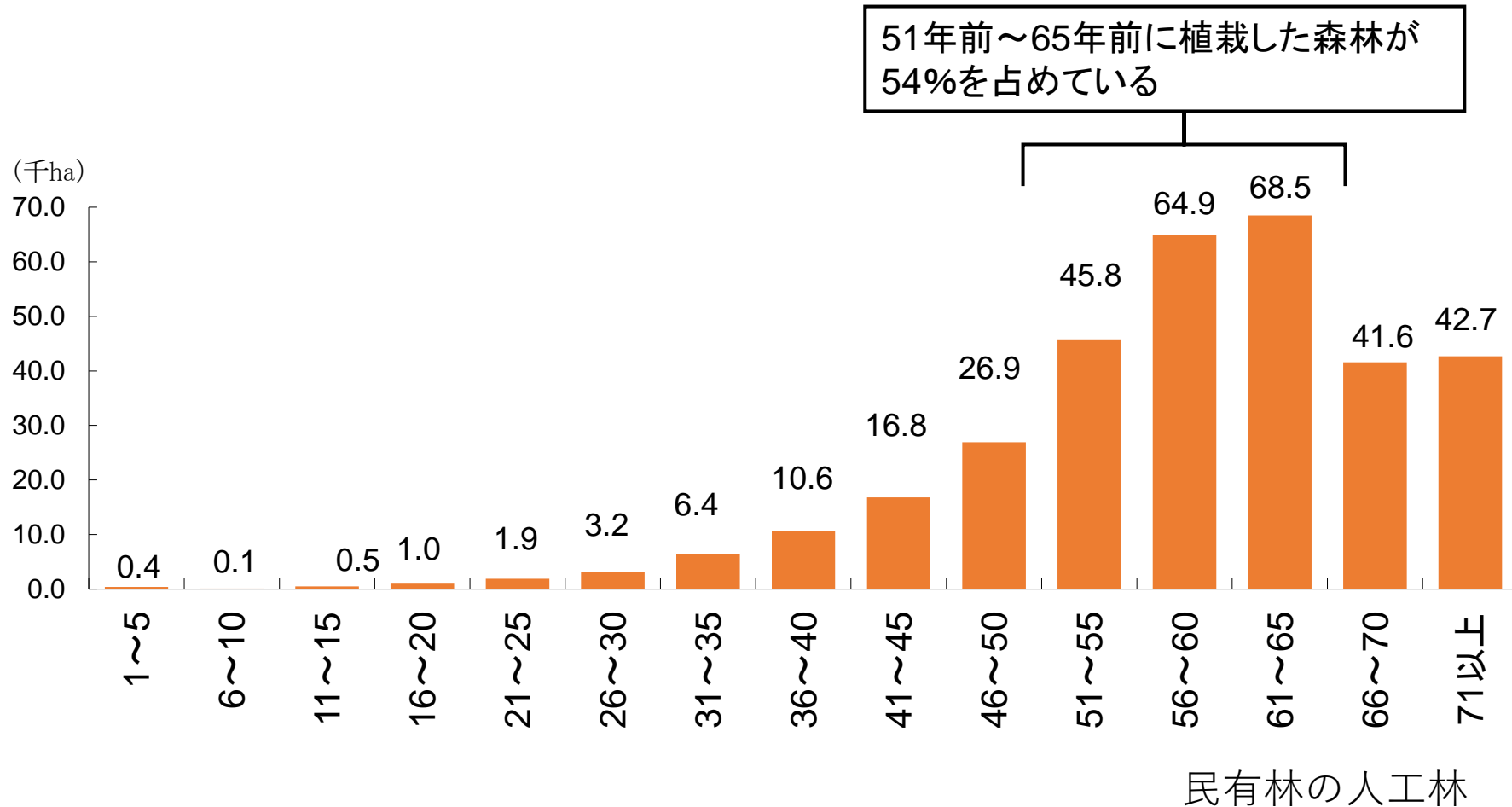
0.4億円

合計

34.4億円

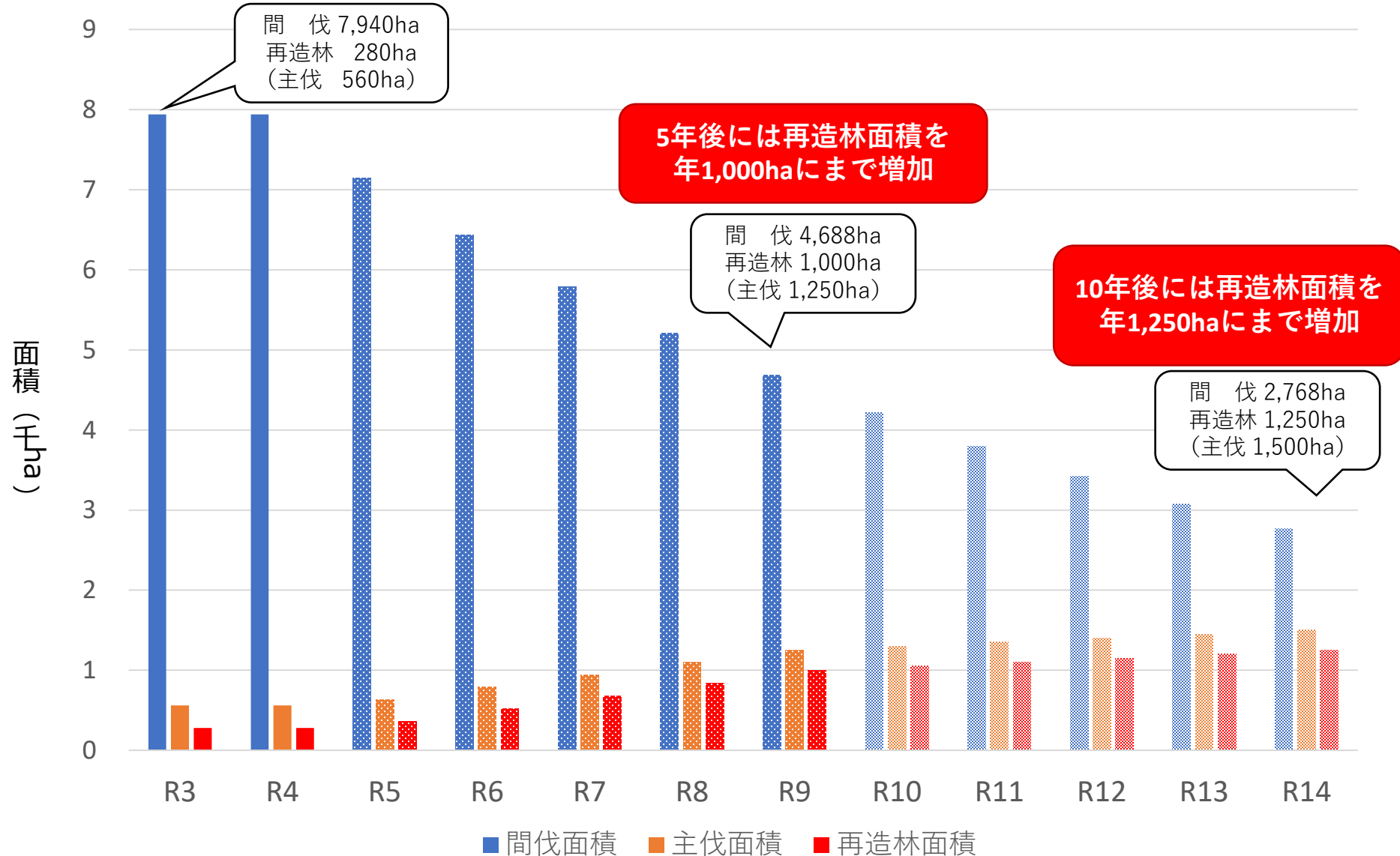
再造林の加速化

成熟した森林が中心となっており、利活用の推進が重要



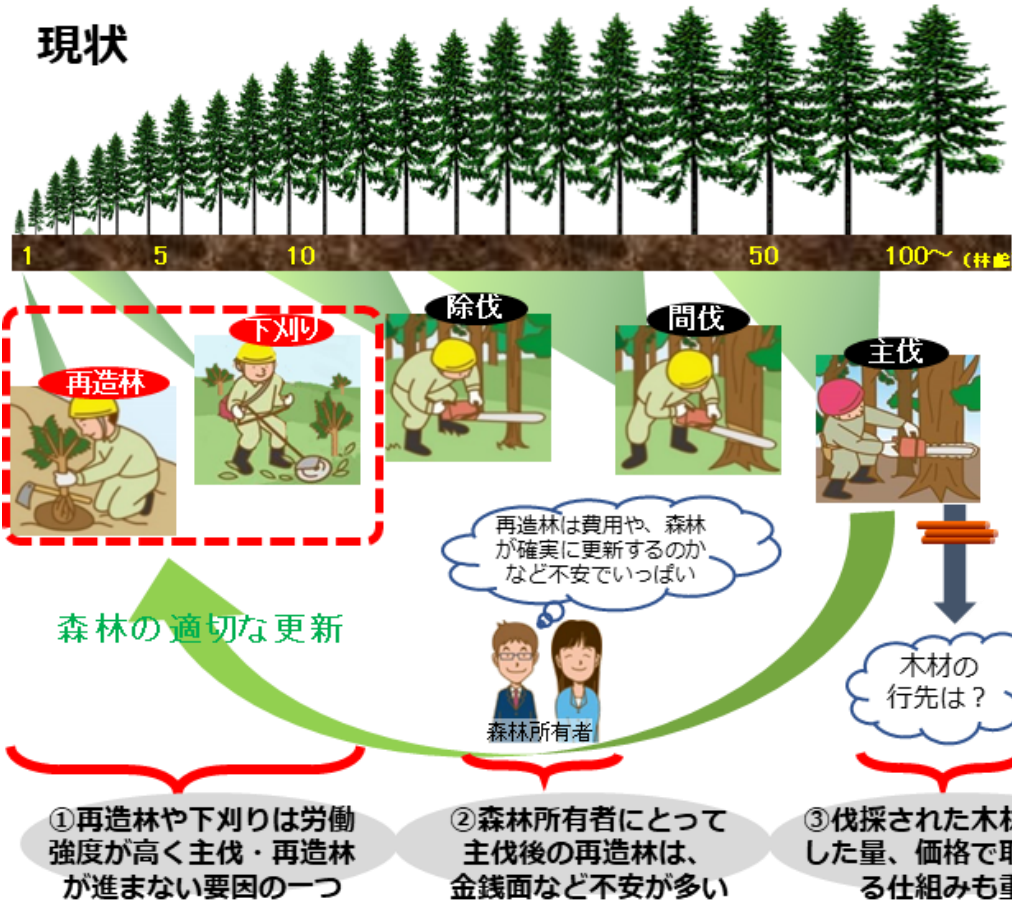
再造林の加速化

今後の再造林面積等の推移見込み

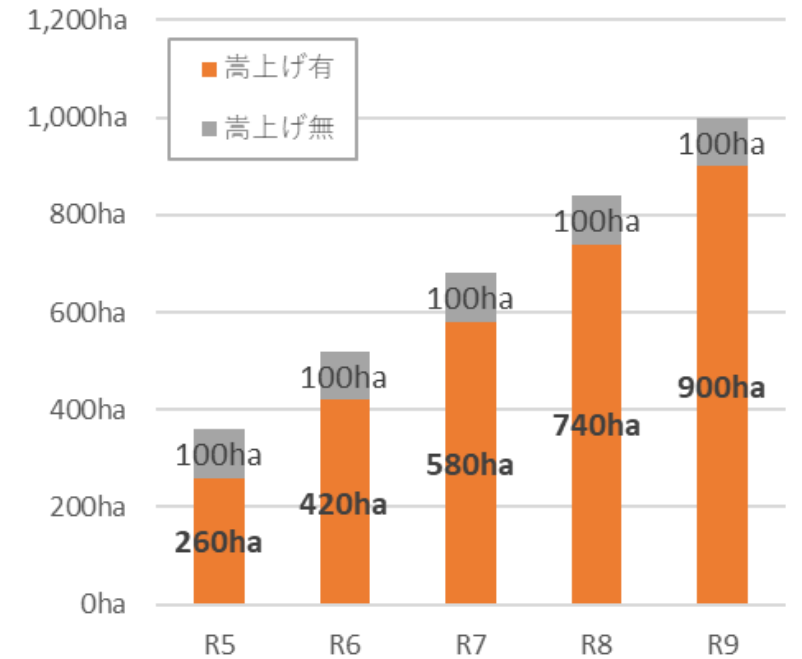


再造林の加速化

➤ 森林税を活用し、5年間で2,900haの再造林等を支援



今後5年間の再造林面積のイメージ



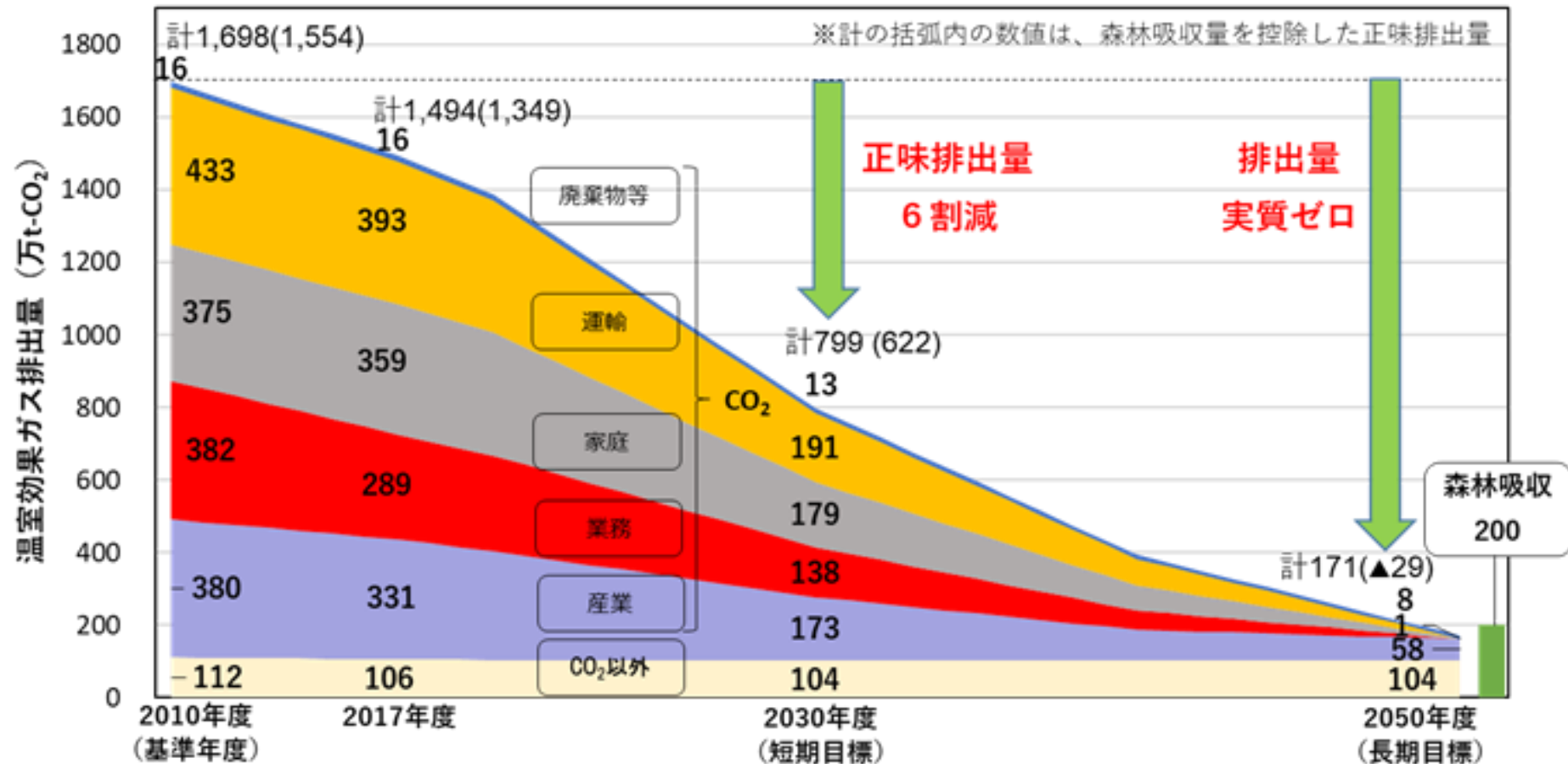
※ 「高上げ無」は、治山事業や松くい虫被害木伐倒後の再造林

主伐・再造林を加速化

再生林の加速化

2050ゼロカーボン達成のシナリオ

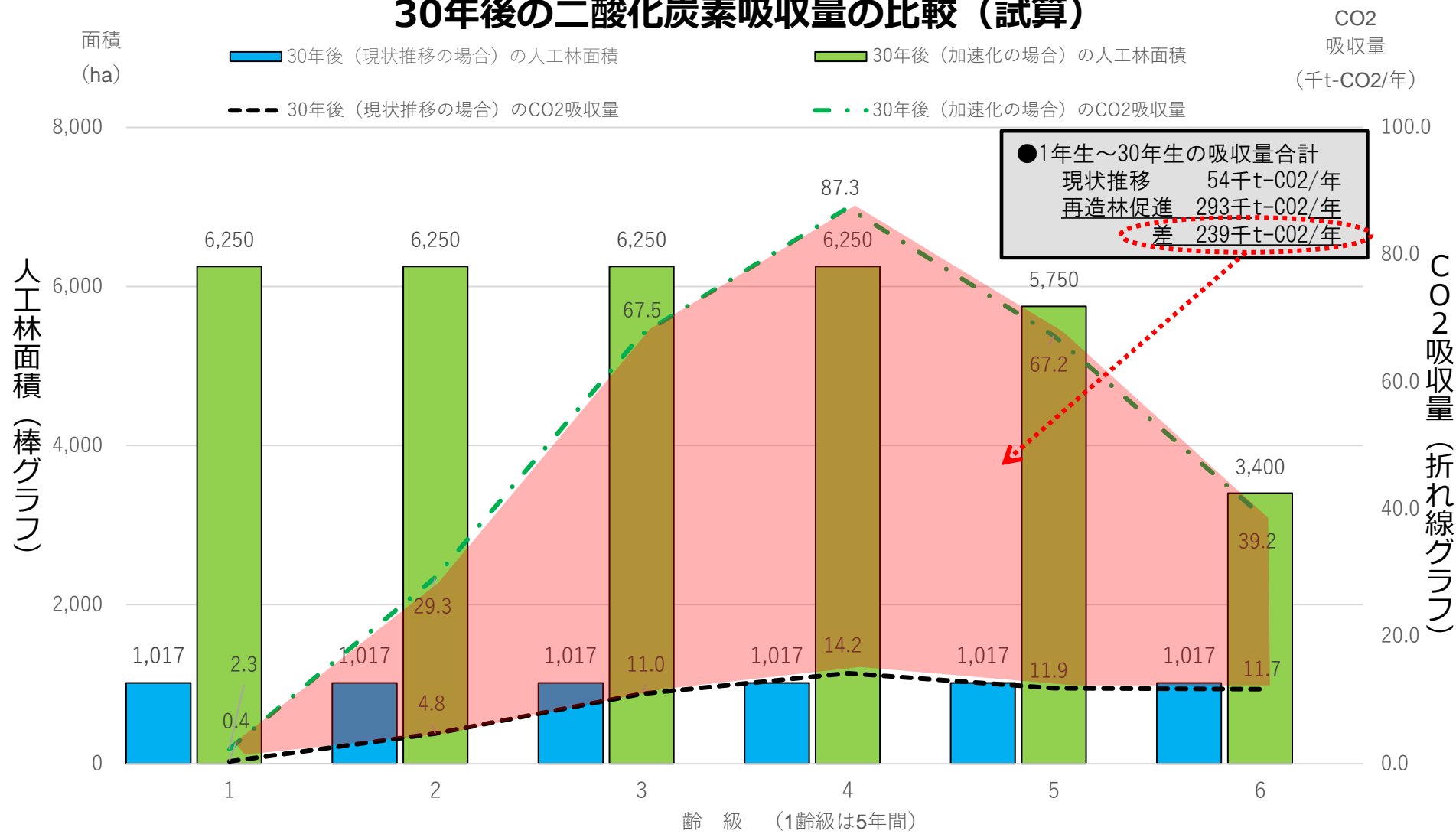
再エネ転換が難しい産業用高温炉などのCO₂や、CO₂以外の温室効果ガス（171万t-CO₂）を上回る森林吸収量（200万t-CO₂）を確保し、排出量実質ゼロを目指す。



再造林の加速化

- 再造林を促進した場合と現状のペースのままの場合を比較すると30年後の「植林後30年生以下の森林」におけるCO2吸収量は24万t-CO2/年の差（図の赤色部分）と試算される。

30年後の二酸化炭素吸収量の比較（試算）



2 県産材製品コーディネート

県産材製品コーディネーター

● 県産材製品コーディネーター配置事業

- 県産材ニーズの知見を活かした
 - ① 都市圏への売り込み
 - ② 県外需要に対応した県内製材工場間の連携による県産材製品の供給
 - ③ 素材生産者（山側）と県内製材工場（川中）が連携して、住宅メーカー（川下）に県産材製品を供給



県産材製品コーディネーター

- 県産材製品コーディネーターによる実績
コーディネーターの働きかけにより、姉妹都市である信濃町産カラマツを利用



千葉県流山市立おおぐろの森小学校

令和3年度木材利用優良施設コンクール
環境大臣賞



千葉県流山市立おおぐろの森中学校

令和4年度木材利用優良施設コンクール
内閣総理大臣賞

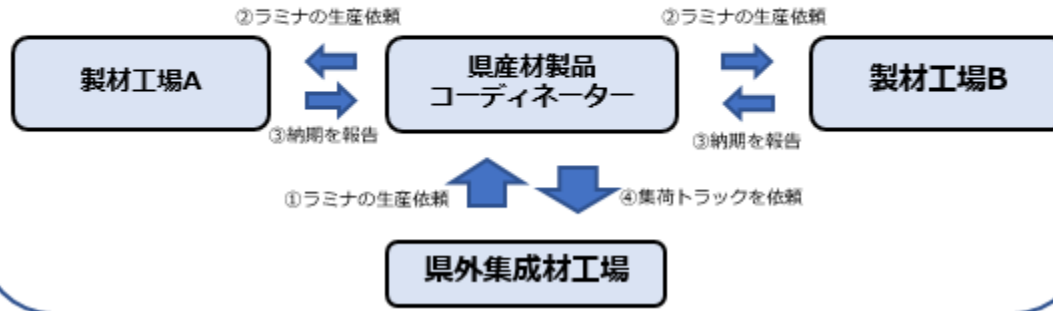
ウッドデザイン賞2022
ライフスタイルデザイン部門
建築・空間分野

県産材製品コーディネーター

○ 県産材製品コーディネーターによる実績

○ 県外集成材工場向け県産材ラミナ供給型（水平連携）

▶ 県内外の集成材工場からの定期的な県産材ラミナの需要に対して県内の製材工場が連携して供給



人工乾燥機



ラミナ



積込状況

信州ウッドコーディネーター

- 信州ウッドコーディネーターは、市場ニーズの把握や県内事業者と消費者の商談の場の創出、首都圏等の自治体・消費者（商社、工務店等）への製品情報発信等を実施する。
- 民間の人材を活用することで、企業間の契約や協定などに踏み込んで調整を行うことが可能。



【星川 嘉諒氏】

(元製材工場営業部長)

- 全国の木材商社とのパイプ
- 県産材製品の全ての知識



【佐藤 健太氏】

(森林組合職員)

- 都市圏自治体とのパイプ
- 環境配慮型製品開発スキル

3 ウッドチェンジの取組み

ウッドチェンジ



「身の回りのものを木に変える」「暮らしに木を取り入れる」「建物を木造・木質化する」など、木の利用を通じて持続可能な社会へ転換する行動

○県職員自らが率先し、ゼロカーボンに向けた取組のきっかけとして、身近にある生活用品などを木質製品に転換（チェンジ）する取組みを進めるため、県庁生協と連携し木質製品の販売を行いました。



木製名札ケース



什器セット



マウスパッド
ペンプレート

ウッドチェンジ

○「ウッドチェンジ」の普及や促進に取り組む民間事業者や団体に支援 事業内容

事業区分	事業内容	取組事例
① 県産材製品の販路拡大	販路開拓・拡大、新規市場への参入につながる取組	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏域への新たな販売網の構築 ・オンラインによる常設販売
② 県産材製品の魅力向上	新製品の開発・既存製品の改良につながる取組	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のプラ、金属製品の木質製品化 ・既存の木質製品の改良、高付加価値化

事例紹介 「co屋」の活用

